

## カリキュラムの一部改訂について

### 1. 科目の新設

下表の通り科目を新設する。

新設年度	科目名		
2024 年度	Intercultural Communication in Language Teaching	Seminar in Applied Linguistics A	Seminar in Applied Linguistics B
	Seminar in Applied Linguistics C	Bilingualism and Language Contact	Research Methods
	コミュニケーション特殊講義 D	通訳翻訳研究特殊講義	通訳翻訳専門実習 A
	通訳翻訳専門実習 B		
2020 年度	Curriculum and Syllabus Design		
	言語コミュニケーション研究基礎論	Psychology of the Language Learner	Content and Language Integrated Learning
	文化研究特殊講義 D	文化研究特殊講義 E	文化研究特殊講義 F
	文化研究特殊講義 A	文化研究特殊講義 B	文化研究特殊講義 C

### 2. 科目の名称変更

下表の通り名称を変更する。科目名を変更した科目は同一科目であるため、左欄の旧科目の単位を既に修得した者は、右欄の新科目を履修することはできない。

変更年度	旧科目名	⇒	新科目名
2024 年度	Content and Language Integrated Learning	⇒	Seminar in Language Curriculum A
	Curriculum and Syllabus Design	⇒	Seminar in Language Curriculum B
	Teaching EFL to Japanese School Children	⇒	Seminar in Language Curriculum C
	Teaching English Vocabulary to Japanese Students: Learning, Teaching and Use	⇒	Teaching and Learning Vocabulary
2020 年度	サステナビリティ・コミュニケーション研究基礎論	⇒	国際協力・人類学基礎論
	サステナビリティ・コミュニケーション理論	⇒	人類学特論
	環境論特論	⇒	人類学特殊講義 A
	国際協力・開発学研究特殊講義 A	⇒	国際協力特殊講義 A
	国際協力・開発学研究特殊講義 B	⇒	国際協力特殊講義 B

	国際協力・開発学研究特殊講義 C	⇒	国際協力特論
	グローバル文化研究特殊講義 A	⇒	グローバル文化研究特論 A
	グローバル文化研究特殊講義 B	⇒	人類学特殊講義 B
	グローバル文化研究特殊講義 C	⇒	グローバル文化研究特論 B
	グローバル文化研究理論	⇒	文化研究特論

### 3. 科目の廃止

下表の通り科目を廃止する。既に修得した廃止科目の単位は、該当入学年度の学科目表にて指定する履修区分において修得した単位となる。

廃止年度	科目名		
2025 年度	通訳翻訳教育論		
2024 年度	Teaching English Speaking/ Listening to Japanese Students	Teaching English Reading/ Writing to Japanese Students	Pedagogical English Grammar to Japanese Students
	Teaching Practicum	異文化コミュニケーション研 究特殊講義 A	異文化コミュニケーション研究特 殊講義 B
	異文化コミュニケーション研 究特殊講義 C	通訳翻訳研究特殊講義 A	通訳翻訳研究特殊講義 B
	通訳翻訳研究特殊講義 C	通訳翻訳理論	通訳実習
	翻訳実習	文化研究特殊講義 E	文化研究特殊講義 F
	Japanese Education System and English Language Education in Japan	Japanese Culture: From Observation to Assimilation	
2020 年度	Japanese in Educational Settings: Classroom and Kyomuka	サステナビリティ・コミュニケ ーション研究特殊講義	国際協力・開発学研究理論
	Japanese Communication Style	Japanese Learners and Learning English in Japan	Class Observation

### 4. 配当年次の変更

下表のとおり配当年次を変更する。

変更年度	科目名	旧配当年次	⇒	新配当年次
2020 年度	Teaching Practicum	2 年次	⇒	1・2 年次

# カリキュラムの一部改訂に伴う変更について

2024 年度のカリキュラム変更に伴い、会議通訳者養成プログラム・翻訳専門職養成プログラム修了に必要な科目に変更が生じる。2023 年度以前入学者は以下の表にて変更箇所を確認すること。2024 年度以降入学者は、入学時に配付している履修要項（冊子）の該当ページを確認すること。

## 「会議通訳者養成プログラム」について

### 修了に必要な科目

2023 年度まで

科目名	備考
通訳翻訳研究基礎論	必修科目
通訳翻訳研究特殊講義 A	2024 年度以降廃止
通訳翻訳研究特殊講義 B	
通訳翻訳研究特殊講義 C	
通訳翻訳テクノロジー論	必修科目
会議通訳入門	必修科目
会議通訳 1	必修科目 「会議通訳入門 1」先修
会議通訳 2	必修科目 「会議通訳入門」, 「会議通訳 1」先修
通訳翻訳理論	2024 年度以降廃止のため、 2024 年度以降プログラム修了要件から削除
通訳翻訳教育論	2025 年度以降廃止のため、 2024 年度以降プログラム修了要件から削除
通訳実習	必修科目 2024 年度以降廃止

2024 年度以降 ※選択必修科目は 2 科目中 1 科目以上修得

科目名	備考
通訳翻訳研究基礎論	必修科目
通訳翻訳研究特殊講義	必修科目 2024 年度新設 ※2023 年度以前入学者で「通訳翻訳研究特殊講義 A~C」のいずれかの科目を修得済みの場合は履修不要。「通訳翻訳研究特殊講義 A~C」を未修得の場合は履修すること。
通訳翻訳テクノロジー論	必修科目
会議通訳入門	必修科目
会議通訳 1	必修科目 「会議通訳入門 1」先修
会議通訳 2	必修科目 「会議通訳入門」, 「会議通訳 1」先修
通訳翻訳専門実習 A ※1	選択必修科目 2024 年度新設 「会議通訳入門」, 「会議通訳 1」, 「会議通訳 2」※2 先修 ※「通訳実習」修得済みの場合は、本科目は履修不要。
通訳翻訳専門実習 B ※1	選択必修科目 2024 年度新設 「会議通訳入門」, 「会議通訳 1」, 「会議通訳 2」先修 ※「通訳実習」修得済みの場合は、本科目は履修不要。

※1 「会議通訳者養成プログラム」「翻訳専門職養成プログラム」の両プログラムの修了を希望する者は「通訳翻訳専門実習 A」「通訳翻訳専門実習 B」の両方を修得しなければならない。

※2 「会議通訳 2」は「通訳翻訳専門実習 A」と同一学期に履修することを認める。

## 「翻訳専門職養成プログラム」について

## 修了に必要な科目

2023 年度まで

科目名	備考
通訳翻訳研究基礎論	必修科目
通訳翻訳研究特殊講義 A	2024 年度以降廃止
通訳翻訳研究特殊講義 B	
通訳翻訳研究特殊講義 C	
通訳翻訳テクノロジー論	必修科目
翻訳の原理と方法	必修科目
翻訳演習 1	必修科目 「翻訳の原理と方法」先修
翻訳演習 2	必修科目 「翻訳の原理と方法」, 「翻訳演習 1」先修
通訳翻訳理論	2024 年度以降廃止のため、 2024 年度以降プログラム要件から削除
通訳翻訳教育論	2025 年度以降廃止のため、 2024 年度以降プログラム要件から削除
翻訳実習	必修科目 2024 年度以降廃止

2024 年度以降 ※選択必修科目は 2 科目中 1 科目以上修得

科目名	備考
通訳翻訳研究基礎論	必修科目
通訳翻訳研究特殊講義	必修科目 2024 年度新設 ※2023 年度以前入学者で 「通訳翻訳研究特殊講義 A～C」のいずれかの科目を修得済みの場合は履修不要。「通訳翻訳研究特殊講義 A～C」を未修得の場合は履修すること。
通訳翻訳テクノロジー論	必修科目
翻訳の原理と方法	必修科目
翻訳演習 1	必修科目 「翻訳の原理と方法」先修
翻訳演習 2	必修科目 「翻訳の原理と方法」, 「翻訳演習 1」先修
通訳翻訳専門実習 A ※ 1	選択必修科目 2024 年度新設 「翻訳の原理と方法」, 「翻訳演習 1」, 「翻訳演習 2」※ 2 先修 ※「翻訳実習」修得済みの場合は、本科目は履修不要。
通訳翻訳専門実習 B ※ 1	選択必修科目 2024 年度新設 「翻訳原理と方法」, 「翻訳演習 1」, 「翻訳演習 2」先修 ※「翻訳実習」修得済みの場合は、本科目は履修不要。

※ 1 「会議通訳者養成プログラム」「翻訳専門職養成プログラム」の両プログラムの修了を希望する者は「通訳翻訳専門実習 A」「通訳翻訳専門実習 B」の両方を修得しなければならない。

※ 2 「翻訳演習 2」は「通訳翻訳専門実習 A」と同一学期に履修することを認める。

## TESOL について

## 修了に必要な科目

2024 年度のカリキュラム変更に伴い、TESOL 修了に必要な科目に変更が生じる。2023 年度以前入学者は以下の表にて変更箇所を確認すること。2024 年度以降入学者は、入学時に配付している履修要項（冊子）の該当ページを確認すること。

TESOL を修了しようとする者は、下表の科目の単位修得が必要である。以下の修了の条件①～③を全て満たすこと。

- ①必修科目は全て修得すること。※1  
 ②「選択科目1」から2科目以上修得すること。  
 ③「選択科目2」から4科目以上修得すること。

※1 ただし、「研究指導演習A/B」、「修士論文指導演習A/B」については、3科目以上修得すること

科目名	区分	備考
研究指導演習A	必修科目 自動登録 3科目以上修得 すること	
研究指導演習B		
修士論文指導演習A		
修士論文指導演習B		
Intercultural Communication in Language Teaching	必修科目	2024 年度新設科目 Japanese Culture: From Observation to Assimilation 修得済みの場合は履修不要
Japanese Culture: From Observation to Assimilation		2024 年度以降廃止
Research Methods		2023 年度以前入学者は履修不要
Psychology of the Language Learner	選択科目 1 2 科目以上修 得すること	
Bilingualism and Language Contact		2024 年度新設科目
(2023 年度まで) Teaching English Vocabulary to Japanese Students: Learning, Teaching and Use (2024 年度以降) Teaching and Learning Vocabulary		2024 年度科目名変更
Seminar in Applied Linguistics A		2024 年度新設科目
Seminar in Applied Linguistics B		2024 年度新設科目
Seminar in Applied Linguistics C		2024 年度新設科目
(2023 年度まで) Content and Language Integrated Learning (2024 年度以降) Seminar in Language Curriculum A		2024 年度科目名変更
(2023 年度まで) Curriculum and Syllabus Design (2024 年度以降) Seminar in Language Curriculum B	選択科目 2 4 科目以上修 得すること	2024 年度科目名変更
(2023 年度まで) Teaching EFL to Japanese School Children (2024 年度以降) Seminar in Language Curriculum C		2024 年度科目名変更
Teaching English Speaking/Listening to Japanese Students		2024 年度以降廃止
Teaching English Reading/Writing to Japanese Students		2024 年度以降廃止
Pedagogical English Grammar to Japanese Students		2024 年度以降廃止
Teaching Practicum		2024 年度以降廃止
Japanese Education System and English Language Education in Japan		2024 年度以降廃止